

して置かなければなりません、殊に乳汁の様に出来るなどは面白うございませぬから尙更氣を附けなければなりません、

「のうるし」は此乳汁管の外に、「のうるし」等と同じ様に漆汁道といふのを持つて居ります、是が此植物の名野漆の依つて來た所以と存じます。

大戟科の植物には前に申す通り「アルカロイド」を含んで居りますから薬用として用ゐられます、また其種子から蓖麻子油を採る蓖麻子即ち「たうごま」も此科の植物であります其根莖から澱粉を

森の幼稚園 (四)

六 應接間

保育室の參觀は先づ御免蒙るが、來訪はいくらでも歓迎するといふのが森の幼稚園の一つの規定

採つて食用とするものあります、此澱粉は「タピオカ」と唱へられまして熱帯地方の産で只今日本にも澤山に参り居まして西洋料理に用ゐられて居る事は御承知と存じますが其植物は「マニホット、エチリツシマ」と申すものであります其他園藝植物として前に申した外に葉の表面が緑色で裏面が紫色の青サシボクや葉の色と形とに無数の變化を示す「クロトン」又變葉木の様なものも、「しやばてん」に似て莖を持つ「はなきりん」と呼ぶものも皆此類であります。

S K 生

です。保育室が絶対に幼児の爲めの場所で見せる處でないことは更めて言ふ迄もありませんが、他所の幼稚園では種々の事情からそうも實行

し難い處もあります。又或る幼稚園では保育室の參觀を求めて歓迎して居られる處もあります。併し森の幼稚園では事情から言つても、先生の主義から言つても、それが厳行せられ得て居ます。先生のお考へからいふと保育室は、一定の時間、一定の計畫のものと保母が幼児を支配して居る場所である。短い時間の始から終り迄其計畫の遂行を期して居るのである。然るに參觀者は此計畫を臨時的に破るものである。さなきだに動搖し易い幼児の注意がこれによつて亂さるゝは勿論、保母と雖も多少の影響を蒙らない譯にはいかない。之れは幼児の爲に大いなる損害である。保育上のいろゝの工夫や新案は人にも見て貰いたい、見て流布しても貰い度い。併し我が責任を以て預つた此の少數の幼児の損害を賭して迄もそんなことは出来ない。明日の幼児の爲に、一般の保育界の爲に、聊かたりとも貢獻し度いことは山々でなるけれど

も「今日の」幼児、「此の」保育の方が先づ第一の貴重問題であるといふのです。何も理攻めでこんなことを考へるのではありません。幼児に對する先生の忠實は自づと斯くあらざるを得なくなるのです。折角熱心に觀に來た人を拒むのは随分心苦しいことです。時には随分遠方から來た人に失望させることさへあります。又世間から兎や角くと批難もあります。しかも先生は此の點に於ては強情を通して居られます。

其の代り、遊園殊に應接室に於ける來訪者の待には充分な意を盡してあります。應接室は可なり大きいのが二つあります。一つは研究的來訪者の爲の室一つは幼児の父兄の爲の室ときめてあります。研究的來訪者の爲の室には此の幼稚園の種々調査事項を一通目に見得る様にした澤山の表や、簡単な刷り物などが備へてあります。殊に此の幼稚園で新案した種々の保育用具が詳しい説明

を附して陳列してあります。豫め多少の保育上の智識経験を有する人で二三日此の廣い應接室へ通つて之等のものを忠實に研究すれば、別に説明を聞かないでも此の幼稚園の保育の大體を知ることが出来るようになって居ます。しかも研究主任の深井君が此の應接室の掛りを兼ねて居て、親切な説明もし、來訪者からいろ／＼の大切な意見をも聞くように努めて居ります。ですから折角訪ねて來て不得要領で歸る人もなければ、人の保育法を一寸のぞいて、其の場思も付きの批評などをして歸る人もありません。保育室の參觀をおことわりする代りには、此の應接室を以て人の利益をも謀り、又人からの教へも受け得るような仕掛が十二分に行き届いて居るのです。

此の應接室も清潔に整頓してありますが、もう一つの室の方は一層居心地のよい作りになつて居ます。四季相應の設備は勿論、圓卓を圍んで排置

された椅子は、いづれも大きい柔いもの許りで平常椅子に慣れない老婦人方にも少しも究屈なことはない様に氣がつけてあります。裝飾も成るべくけば、くしく大業でない様にして、季節々々の花や、新しい玩具などをあしらつて、極く氣安い、打ち解けた感じの起るように意が用ゐてあります。こゝは幼児の家庭からの來訪者に限つて迎へるので、必ず先生なり其幼児の組の主任なりが應接することにしてありますが、多くは先生の奥様も冬ならば熱い珈琲、夏ならば冷たい麥湯などを持つて、お心安だでの待遇に出られます。

『毎度武男が……』

『いゝえ、どう致しまして、此の頃は大層お丈夫にお成り遊ばして結構で御坐います、』

『有り難う御坐います。お蔭様で自立つて丈夫になりました。先達上りました時先生からお話を伺ひまして……』

『すぐ御實行で御坐いましたのですか、よくねえ』

『どうも之れ迄の悪い癖が深くしみて居りました、始めはなかく早くやすみませんで御坐いました、家中總が、りりで氣をつけましたので、此頃では奥様、八時が鳴りますと自分からやすむので御坐いますよ』

『お感心にねえ』

『之迄もちよい、お話や雑誌などでは伺つて居りましたが、規則正しく睡眠することがほんと

机邊だより

幼稚園の教育

(スタンレーホール氏)

一 理想的幼稚園

「幼稚園」何といふ適しい名稱でありませう。此

うにこんな大事なこと、は存じませんでした』
『やあ、樫村さんの奥さん、よくいらした。まあ、其のまゝ。丁度今武男さん達と砂場の大掃除をして居た處です』

斯ういつた調子で、少しもあらたまらない、極く親しい、心をきかない談話の間に幼稚園からの注意も與へれば、家庭からの注文も聞く、殊に保育上の参考になるべき互の打合はせを充分にする。先生が始終言つて居られます。「此の應接室がなくしては吾々の保育は半分以上出来ない」と。

倉橋惣三

の名の中には様々な暗示と、大なる魅力とが含まれてゐるのであります。フレールは此の名稱の撰擇に迷ひ迷つて、遂に「幼稚園」といふ歡喜に満ちた叫びを發しました。何故なれば、生涯の努